

長野県の金融経済動向

(2025年2月3日)

【概況】

長野県経済は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。また、個人消費は緩やかに増加している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は緩やかに改善している。

【前回からの変化】

24/12月	25/2月
<p>長野県経済は、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。・生産は持ち直しつつある。・雇用・所得は緩やかに改善している。	<p>長野県経済は、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。・<u>公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。</u>・<u>生産は横ばい圏内の動きとなっている。</u>・雇用・所得は緩やかに改善している。

1. 実体経済

公共投資

公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

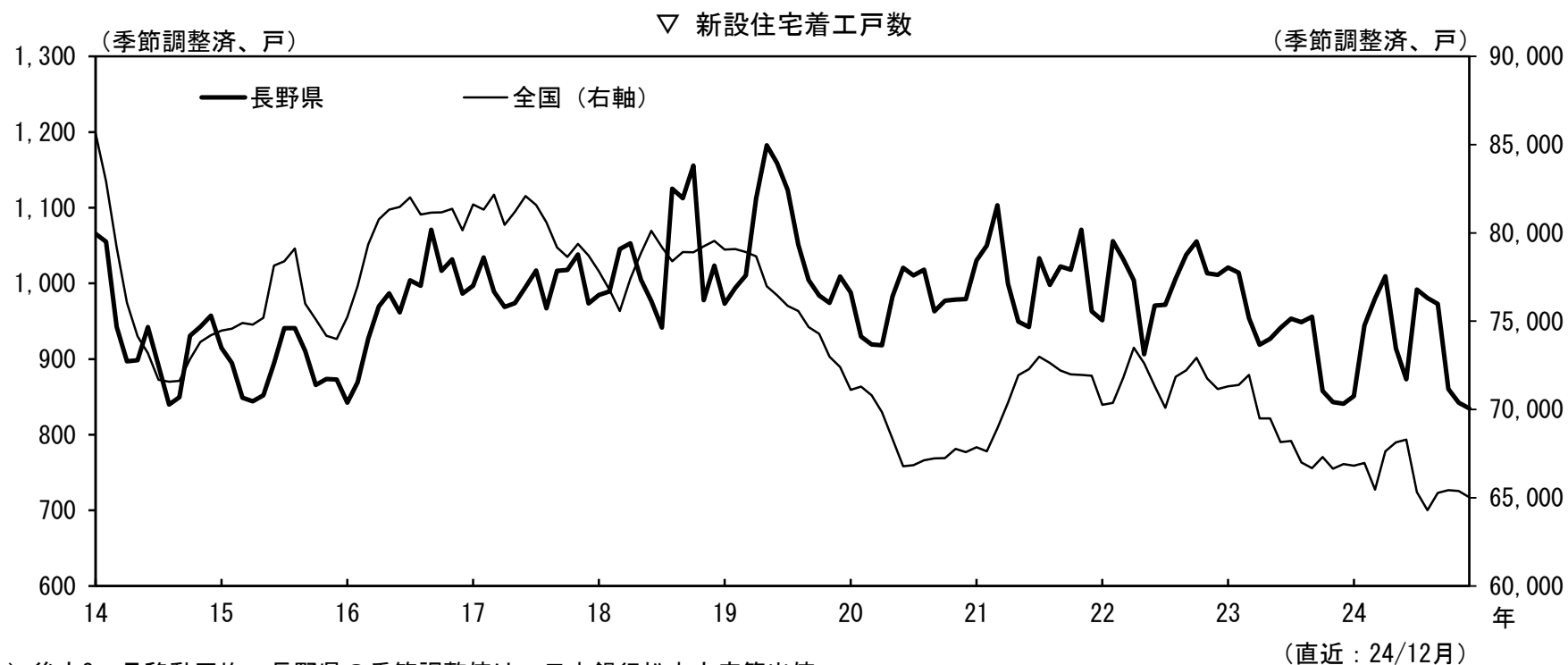
(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(直近：24/12月)

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。

設備投資は、24年度は前年度を下回る計画となっている。

輸出は、24年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、24年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業	29.4	- 19.4
非製造業	13.3	42.6
全産業	27.4	- 12.8

▽ 輸出(売上高)
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業	- 9.0	5.4

▽ 経常利益
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業	- 21.0	- 12.4
非製造業	10.1	- 3.0
全産業	- 16.6	- 10.7

全国

▽ 設備投資額
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業	6.7	15.1
非製造業	12.8	6.7
全産業	10.6	9.7

▽ 輸出(売上高)
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業 <大企業>	2.9	4.0

▽ 経常利益
(前年度比、%)

	23年度	24年度 計画
製造業	9.6	- 4.9
非製造業	14.6	- 1.8
全産業	12.4	- 3.1

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(24/12月)」

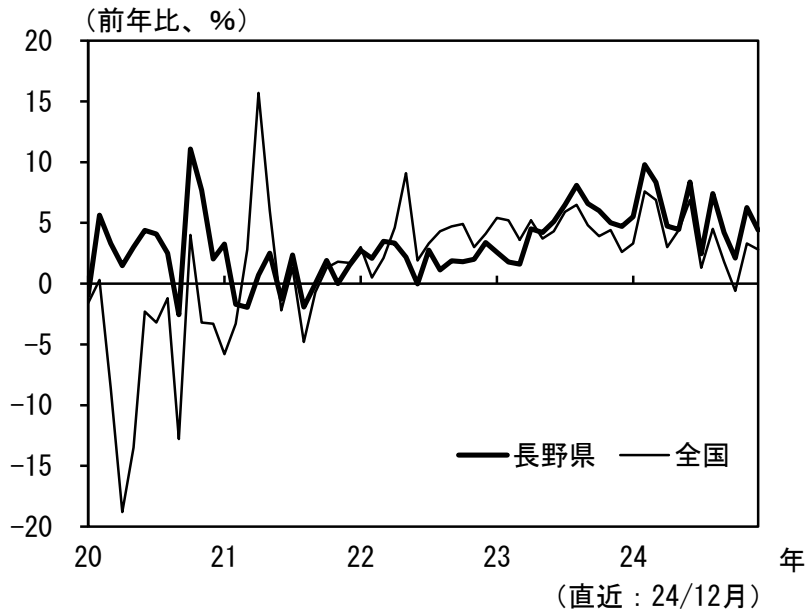
1. 実体経済

個人消費

個人消費は緩やかに増加している。

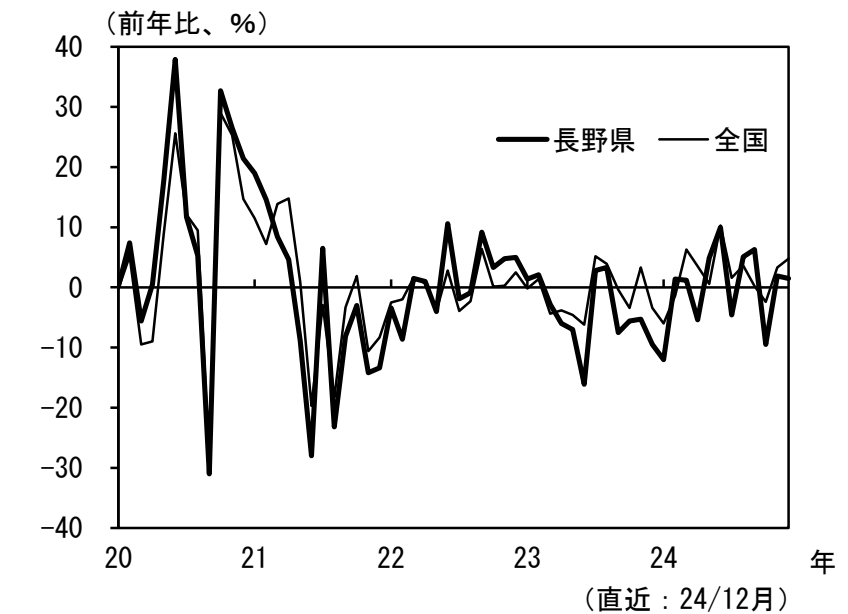
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は緩やかに増加している。家電販売額は横ばい圏内の動きとなっている。新車登録台数は足もと弱めの動きとなっている。サービス消費は緩やかに回復している。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

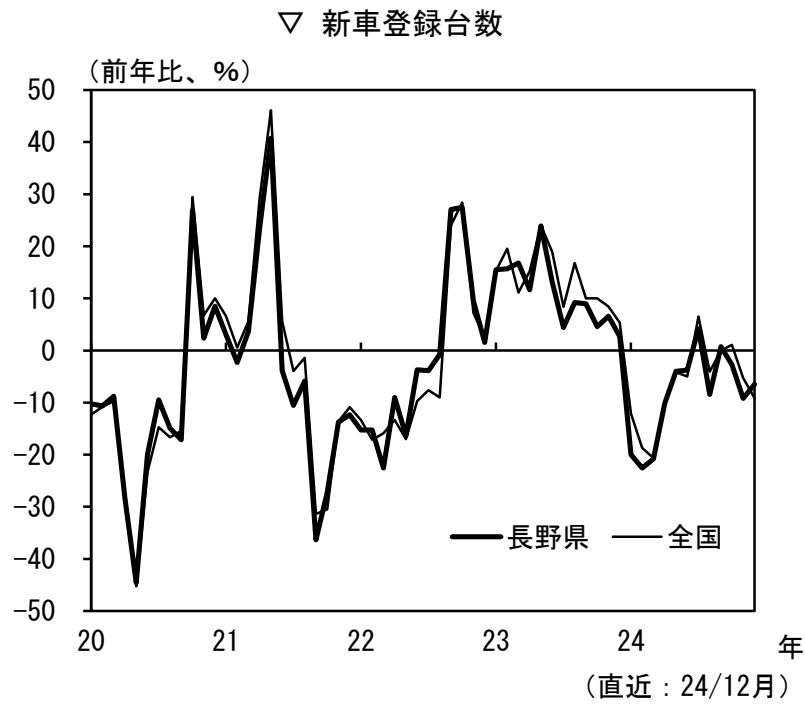
▽ 家電販売額



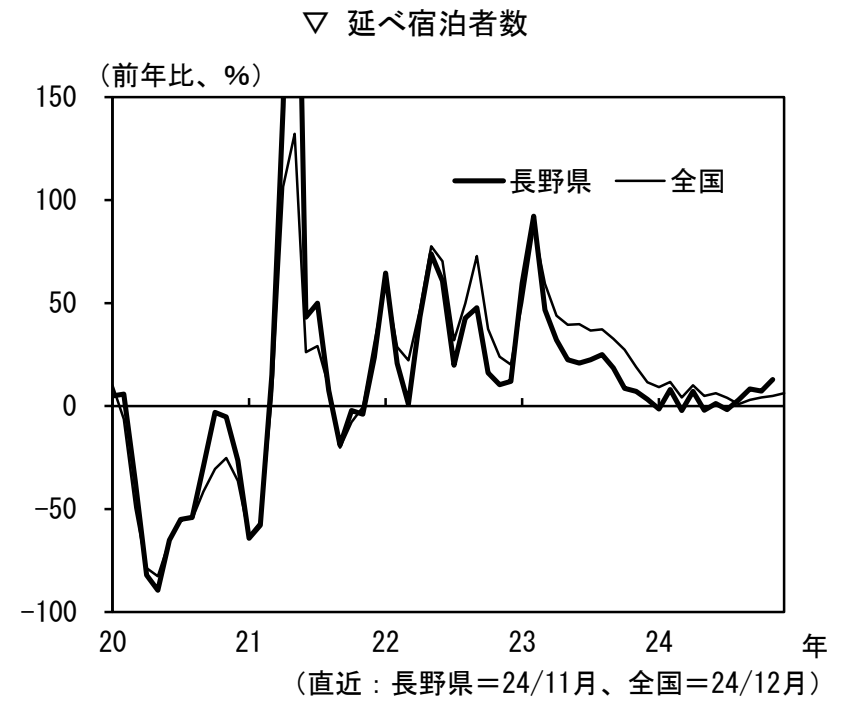
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

個人消費



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」



(注) 長野県の21/5月は前年比+328.7%。

(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

1. 実体経済

生産

生産は横ばい圏内の動きとなっている。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

(直近：長野県=24/11月、全国=24/12月)

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。

自動車関連は足もと増勢が一服している。

機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。

飲料は横ばい圏内の動きとなっている。

【前回からの変化】

24/12月	25/2月
<p>半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。</p> <p>自動車関連は増加している。</p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は横ばい圏内の動きとなっている。</p>	<p>半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。</p> <p><u>自動車関連は足もと増勢が一服している。</u></p> <p>機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。</p> <p>飲料は横ばい圏内の動きとなっている。</p>

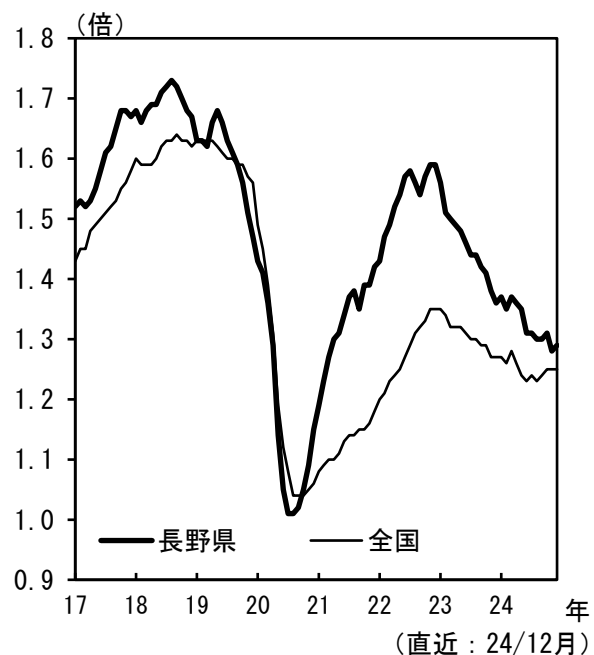
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は緩やかに改善している。

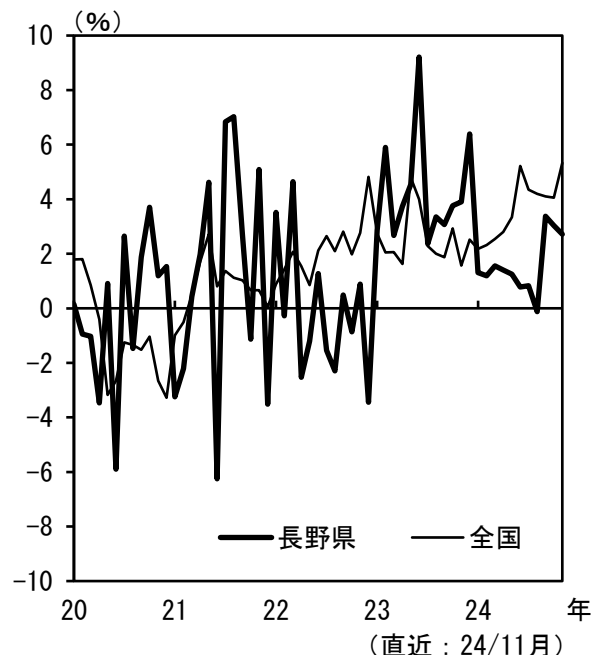
有効求人倍率は、足もと横ばい圏内の動きとなっている。雇用者所得は、緩やかに増加している。就業者数は、横ばい圏内で推移している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

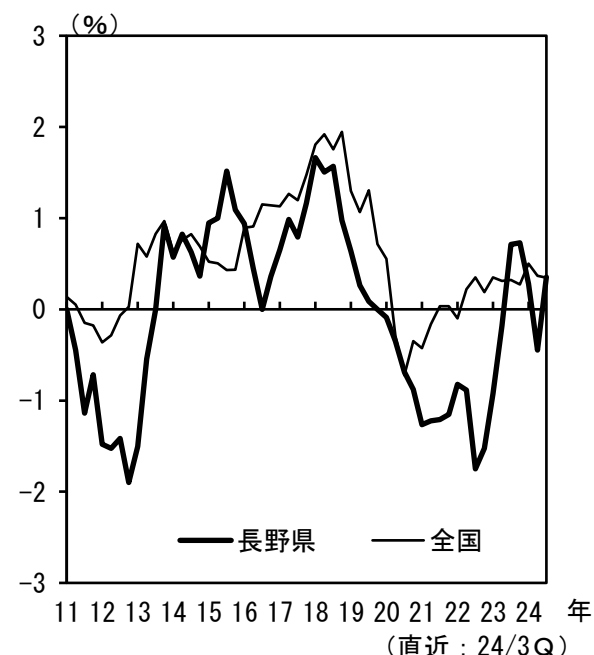
▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。

(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

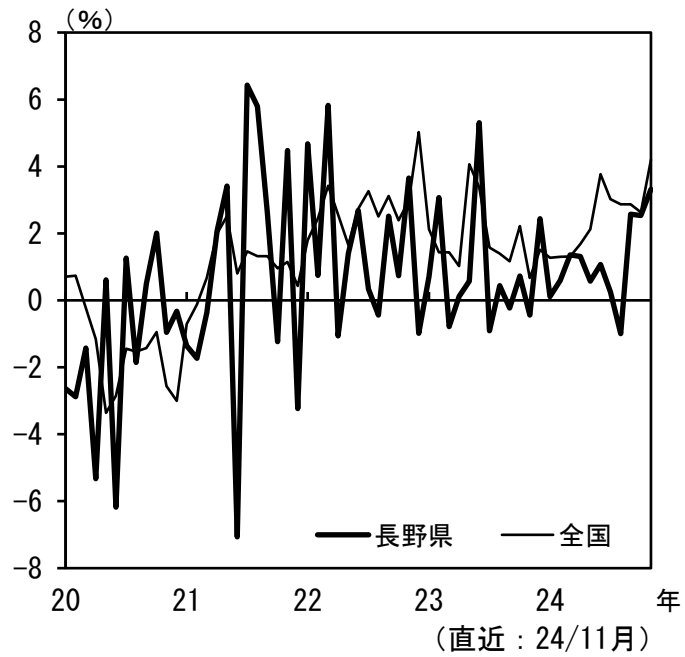


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

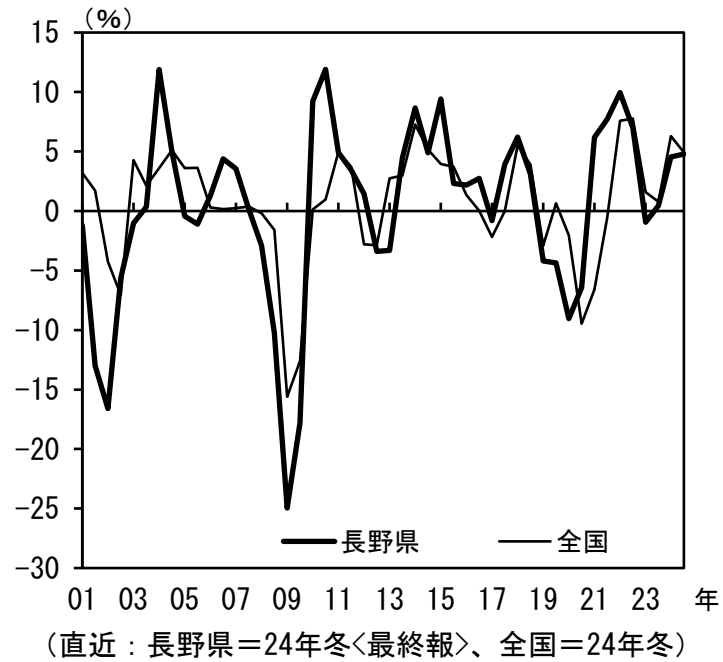
雇用・所得

▽ 名目賃金（前年比）



(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与と妥結額（前年比）

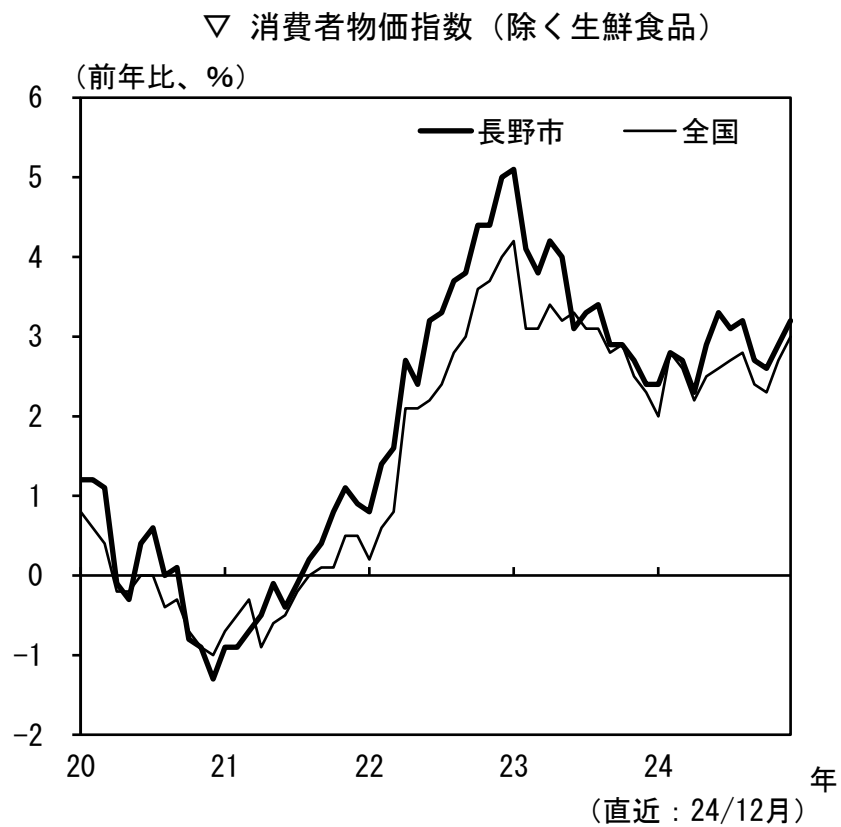


(出所) 長野県：長野県
「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
全国：厚生労働省
「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

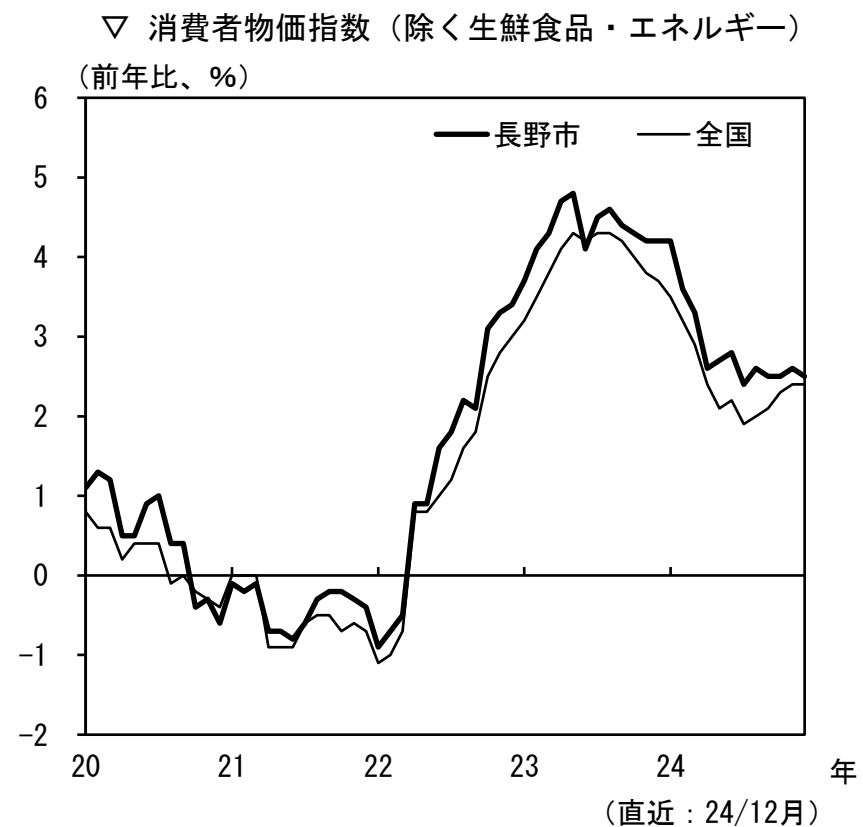
1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、24/12月は前年を上回っている。



（出所）総務省、長野県



（出所）総務省、長野県

2. 金融

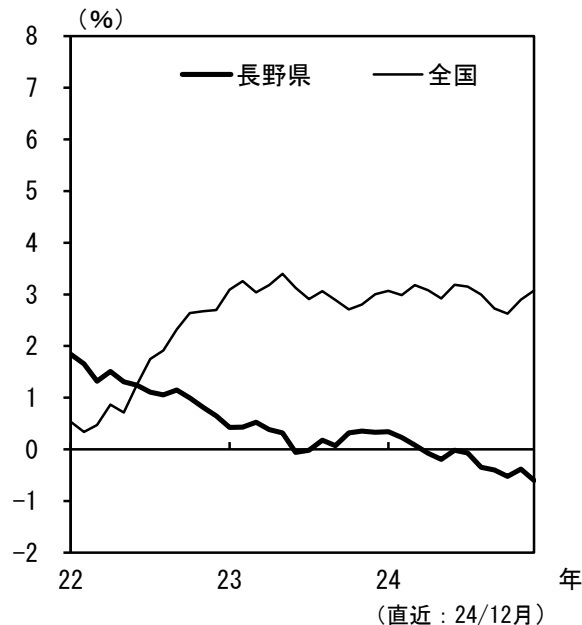
貸出金・預金

貸出残高は、前年比で0%台半ばのマイナスとなっている。

貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

預金残高は、前年比で0%台後半のプラスとなっている。

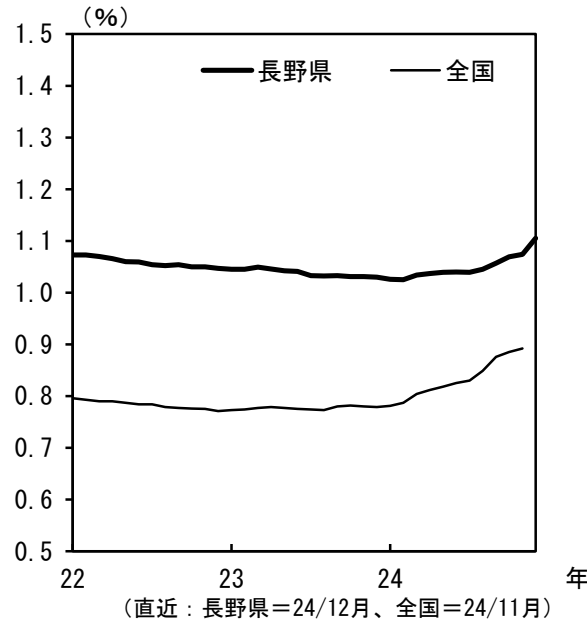
▽ 貸出平残（前年比）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行

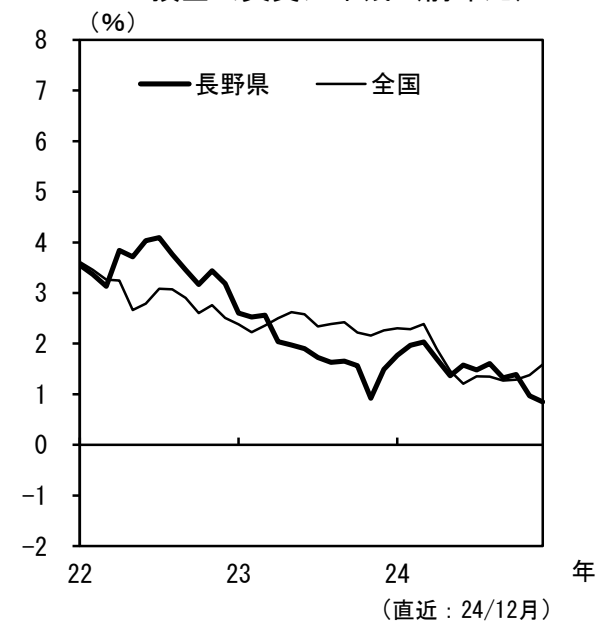
▽ 貸出約定平均金利（ストックベース）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

(出所) 日本銀行

▽ 預金<実質>平残（前年比）



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+〇）。

・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行